

平成28年度

学校支援地域本部訪問

No.5



発行：会津教育事務所

＜西山地区学校支援本部事業＞

○開設年度 平成27年

○対象学校 西山小学校、西山中学校

○H27取組内容

【学習支援】 「町探検」※事前に、探検コースの下見（ハチの巣撤去）も行った。

【美化・環境整備】 「グランドの除草、整地」

【学校行事】 「スケート教室」「スキー教室」「絵手紙教室」「秋に親しむ会」

「伝統民芸品製作の指導・製作」

柳津町訪問《西山小学校・西山中学校》

○訪問日時 平成28年10月13日（木）9:00～11:00

○場所・内容 西山小学校 取組報告

西山中学校 ボランティアによる「ひし」作り

西山小

祖父母参観 ふれあい活動（弓矢づくり）※9月14日実施

毎年恒例の祖父母参観・ふれあい活動。今年度の活動は、「弓矢で遊ぼう」でした。西山地区にお住まいの菊地武義さんが、材料の収集、当日の製作・遊び方の指導をしてくださいました。子どもたちは給食の班に分かれ、おじいちゃん、おばあちゃんといっしょに弓を作りました。弓ができたら、色を塗ったり、カラー・テープを巻いたりして、自分だけの弓を仕上げました。作った弓で、矢を遠くに飛ばしたり、的に当てたりして楽しく遊びました。



西山中

西山地区伝統民芸品「ひし」作りボランティア

西山地区では、子どもの健やかな成長を願って、「ひし」と呼ばれる三角形の布製の手芸品を観音堂に奉納していました。時代とともに消えつつあった地域の風習に生徒達が着目し、「ひしストラップ」という西山独自の土産物を開発しました。しかし、全校生が20名に満たない中学生だけで、製作・販売をすることは大変困難です。現在は、製作を地域のお年寄りやボランティアの方に委託し、中学生が委託先に訪問し、交流の機会を持ちながら受け取り、包装・販売へとつなぐシステムとなっています。



今回は、文化祭での販売において、数が不足しそうだということで、ボランティアの方に「ひし」の製作をしていただいたそうです。「子どもたちが、お世話になった学校のために役に立ててうれしい。」と、慣れた手つきで「ひし」を仕上げていらっしゃいました。右の写真が、学校と地域のコラボによる「ひしストラップ」です。